

年 組 名前：



ロボットでゲームを体験する中学生 忍野村役場

村が導入したのは同社が産業用に開発したロボットで、長さ1メートルのアームで部品や素材を運ぶことができる。村が村内に工場がある企業との関係をより密接にしようと導入

小中校授業にロボット 忍野村 ファナック製を活用

忍野村は、村に本社がある産業用ロボット製造のファナック社製のロボットを導入した。小中学校に貸し出し、プログラミングの授業に利用してもらうことを想定。10日に村役場で開かれたお披露目会では、ロボットの使い方が実演されたほか、中学生がロボットを使ったゲームを体験した。

〈武田寛明〉

10日のお披露目会には大野多喜雄村長や村議、忍野中の生徒らが出席。実演では、プログラミングされたロボットがアームを使ってブロックを正確に積み替えたり、持ち上げた球の中心がずれないように動かしたりした。

忍野中科学部の4人はロボットを使ったゲームを体験。生徒とロボットが前面のパネルに描かれた村章の輪郭をなぞる速さや、モニターに表示された数字を順にタッチするスピードを競うゲームをした。

体験した忍野中3年の大島太一さんは「人間以上に素早い動きだった。自分も技術者を目指しているので、プログラミングして動かしてみたい」と話した。

(2023年5月13日付 山梨日日新聞 17面)

問1 忍野村が導入したロボットは、1メートルのアームで、なにができるロボットですか。

.....

問2 村役場で展示された後、忍野小と忍野中に貸し出して、どのような授業に利用しますか。

.....

問3 忍野中科学部の生徒は、どのようなゲームを体験しましたか。

.....

問4 あなたは、産業用ロボットが、どのようなシーンで活躍していくと考えますか。

.....